

セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用する株式と債券のそれぞれのインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が小額の場合には分配を行わないこともあります。信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

■お問合せ先

セゾン投信株式会社

〒170-6037 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37F

[ホームページ] <http://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

運用報告書 第6期

決算日 2012年12月10日

■受益者の皆様へ

2012年の世界は大きく揺れ動きました。比較的落ち着いて始まった年初から春先まで、世界経済は先進国、とりわけ米国と日本の景気回復期待を中心としたグローバルに安定した環境が保たれ、前年の欧州債務危機によって一斉にリスク回避へと日米独国債に集中的に流入していたマネーが株式市場へ還流してきて、世界の株式市場は順調に割安感を修正していました。

ところが夏にかけてギリシャでの混乱が再発し、欧州ユーロは3年目の危機に揺れ、世界中のマネーはリスクオフに逆戻りし、株式市場は大きく下落を続ける中、マネーの避難先として円が選択され1ドル=77円台の円高へと当ファンドに再度厳しい逆風が吹く状況が訪れました。

市場のムードが大きく転換したのは9月のこと、米、欧中央銀行がそれぞれ強烈な資金供給とリスク資産の購入へと舵を切ったことで、ユーロ危機は鎮静され、金融緩和の効果も米国景気の回復軌道を顕在させ始めたわけです。景気の踊り場に入っている新興大国も含め、世界各国は实体经济の成長を主軸とする金融政策で足並みがそろいました。

そして株式市場が低迷したままだった日本でも、衆院解散が決して以降、強力な金融緩和期待が台頭し、円高修正へと潮目が変わり始めています。

そんな楽観、悲観が交錯した1年でしたが、相変わらず当ファンドの資金フローは安定した流入が続いて、おかげさまで11月には純資産総額が500億円を突破！そして設定以来69ヵ月連続資金流入超の我が国に希少な本格的長期投資ファンドの地歩が定まってきました。

マーケットは悲喜こもごもに上下を繰り返す一方、世界経済は厳しい年だと言われながらも相応の成長軌道を堅持しています。やはりグローバルリゼーションというメガトレンドは変わることなく、地球経済に日々豊かさを広げ続けていることがより実感されることでしょう。そして下落相場でコツコツと安定した仕込みを実践してきた当ファンドの当期を通じた運用は、しっかりと实体经济の成長軌道をとらえた成長を上げております。

長距離列車「セゾン号」は順調に乗客の皆様が増え続けており、乗務員一同感謝申し上げますと共に、第6期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓



セゾン投信

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資対象ファンド組入比率									為替レート		投資証券組入比率	純資産総額
	(分配率)	税込み 分配金	期中 騰落率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン・ ストック	パシフィック・ エックシジャ ンファンド	エマージグ・ マーケット・ ストック	U.S. ガバメント・ ボンド	ユーロ・ ガバメント・ ボンド	ジャパン・ ガバメント・ ボンド	米ドル /円	ユーロ /円			
第2期(2008年12月10日)	円	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	百万円
	6,742	-	△35.6	23.1	13.3	4.6	1.8	4.6	21.2	19.7	10.8	92.63	119.81	99.0	15,104	
第3期(2009年12月10日)	7,829	-	16.1	21.2	13.9	4.9	2.6	6.5	20.0	19.8	10.0	88.26	130.14	98.9	25,519	
第4期(2010年12月10日)	7,753	-	△1.0	22.5	13.6	4.6	2.7	7.2	19.8	18.1	10.5	83.82	110.92	99.0	32,583	
第5期(2011年12月12日)	7,226	-	△6.8	23.0	13.0	4.4	2.7	6.8	19.6	18.9	10.7	77.68	103.77	99.1	37,748	
第6期(2012年12月10日)	8,309	-	15.0	24.4	12.7	3.8	2.7	6.7	20.7	17.9	10.8	82.55	106.56	99.8	50,743	

(注1) 基準価額は1万口当たりです。

(注2) 組入比率は、対純資産比です。騰落率、組入比率は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注3) 為替レート(米ドル/円)(ユーロ/円)は、わが国の対顧客電信売買相場仲値を使用しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上記には市況を併記しておりません。

■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資対象ファンド組入比率									投資証券組入比率
	騰落率	騰落率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン・ ストック	パシフィック・ エックシジャ ンファンド	エマージグ・ マーケット・ ストック	U.S. ガバメント・ ボンド	ユーロ・ ガバメント・ ボンド	ジャパン・ ガバメント・ ボンド		
(期首) 2011年12月12日	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	7,226	-	23.0	13.0	4.4	2.7	6.8	19.6	18.9	10.7	99.1	
12月末	7,213	△0.2	23.9	12.6	4.2	2.6	6.5	19.3	18.3	11.0	98.5	
2012年1月末	7,371	2.0	23.5	12.8	4.2	2.7	6.9	19.7	18.0	11.2	99.0	
2月末	7,957	10.1	23.7	13.1	4.3	2.7	6.9	19.5	18.0	11.0	99.1	
3月末	8,116	12.3	24.1	12.9	4.4	2.6	6.8	19.6	18.0	10.7	99.1	
4月末	7,934	9.8	23.9	12.4	4.1	2.6	6.6	20.2	18.4	10.8	99.0	
5月末	7,430	2.8	24.1	11.6	3.9	2.5	6.6	20.9	17.8	11.4	98.9	
6月末	7,485	3.6	24.8	11.6	4.1	2.5	6.5	20.8	17.4	11.5	99.1	
7月末	7,545	4.4	24.8	11.8	4.0	2.6	6.5	20.5	17.5	11.3	99.1	
8月末	7,719	6.8	24.6	12.1	4.0	2.6	6.4	20.5	17.6	11.3	99.1	
9月末	7,793	7.8	24.3	12.2	3.9	2.6	6.6	20.4	17.8	11.4	99.1	
10月末	7,954	10.1	23.9	12.2	3.8	2.7	6.6	20.7	17.9	11.3	99.2	
11月末	8,222	13.8	24.4	12.5	3.8	2.7	6.5	20.6	18.0	10.9	99.3	
(期末) 2012年12月10日	8,309	15.0	24.4	12.7	3.8	2.7	6.7	20.7	17.9	10.8	99.8	

(注1) 基準価額は1万口当たりです。

(注2) 組入比率は、対純資産比です。騰落率、組入比率は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注3) 騰落率は期首比です。

■当期の運用状況と今後の運用方針

I：当期の基準価額の推移と基準価額の変動要因について

当ファンドの第6期(2011年12月13日～2012年12月10日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2011年12月16日に7,114円の最安値を、2012年12月10日に8,309円の最高値を付け、当期末の基準価額は8,309円となりました。設定から当期末までの基準価額の騰落率は△16.91%、当期の騰落率は+14.99%となりました。



基準価額のハイライト

	基準価額	日付
安値	7,114	2011年12月16日
高値	8,309	2012年12月10日

基準価額の変動要因

当期は、株式市場が大きく上昇すると共に、債券市場も上昇したことから、投資先ファンドが基準価額の主な上昇要因となりました。また、対ドル、対ユーロで円安となったことから、為替も基準価額の上昇要因となりました。

<基準価額のプラス要因>

- ・ U.S. 500・ストック・インデックス・ファンド(米ドル)
- ・ 対ドルでの為替レート(円安)

- ・ ユーロピアン・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ)
- ・ ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ)
- ・ 対ユーロでの為替レート(円安)
- ・ エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル)
- ・ U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル)
- ・ パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル)
- ・ ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円)
- ・ ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円)

<基準価額のマイナス要因>

ございません。

II：当期の市場概況

世界の株式市場の概況

主要国の株式市場は、中国など一部の国を除いて大きく上昇しました。国家の財政問題などの影響により世界経済の先行きは不透明で、企業の業績にも力強さが見られないものの、物価が落ち着きを見せるなか、先進国で積極的な金融緩和策が打ち出され、安心感が広がると共に、株式の相対的な割安感が高まったことが株式市場の上昇を支援しました。

米国は連邦準備制度理事会(FRB)が金融緩和策をさらに拡大するなかで、先行きに対する楽観的な見方が広がり大きく上昇する局面もあったものの、世界的な景気減速の影響で企業業績の伸びが鈍化したことを受けて、終盤にかけて力強さを欠く展開となりました。

欧州は、ユーロ圏の債務問題を巡る不透明感が払拭されないなかで、緊縮財政の実施による景気低迷の長期化観測が高まったものの、欧州中央銀行(ECB)が債務問題への関与を強めて支援策を打ち出したことを受けて、混乱への警戒が和らぎ上昇しました。

日本は円高と世界的な景気減速の影響により企業業績の低迷が確認され、海外と比べて低い伸びに留まっていたましたが、終盤に円安が進行したことを受けて上昇が加速しました。

アジア太平洋地域や新興国は、先進国の景気減速の影響を受けて経済の拡大ペースの鈍化が確認されているものの、世界的な金融緩和の長期化観測が高まったことから、より高いリターンを求める資金が流入しやすい状況となり、上昇しました。

国債市場の概況

国債市場は、米国、ユーロ圏、日本共に上昇(金利は低下)し、特にユーロ圏はイタリアなどの高債務国の債券市場が落ち着きを示したことにより大きく上昇しました。

米国は先行きに対する明るい見方が広がり下落する局面もあったものの、物価が安定するなかで、雇用が伸び悩んでいることを受けて、連邦準備制度理事会(FRB)がさらに金融緩和策を拡大したことから、堅調な展開となりました。

ユーロ圏では、欧州中央銀行(ECB)が国債市場を支援する方針を示したことを受けてイタリアなど高債務国の国債が上昇したほか、財政再建のための緊縮財政による景気低迷の長期化観測が高まったことを受けてドイツなど主要国の国債も堅調な展開となりました。

日本は、世界的に低金利の長期化観測が高まり、債券市場が上昇基調となるなかで、日本銀行による金融緩和の拡大観測が高まったことを受けて堅調な展開となりました。

為替市場の概況

為替市場ではユーロが下落したほか、ドルも軟調な展開となったものの、円が大きく下落し、対ドル、対ユーロで円安となりました。

ドルは、米国経済の先行きに対する相対的に明るい見方が広がり、上昇する局面もあったものの、米連邦準備制度理事会(FRB)がさらに積極的な金融緩和姿勢を示したことなどにより、金利が低下したことを受けて軟調な展開となりました。

ユーロは、欧州中央銀行(ECB)が債務問題への関与を強めて支援策を打ち出したことを受けて、混乱への警戒が和らいだものの、緊縮財政による景気低迷が確認されると共に低金利が長期間継続するとの見方が高まり、下落しました。

円は、米国やユーロ圏で金利が一段と低下し金利差が縮小したことを受けて、ドルやユーロに対して底堅い動きとなる局面もあったものの、貿易赤字が続いたほか、日本銀行による金融緩和の拡大観測が高まったことから、大きく下落しました。

Ⅲ：組入れファンドと為替レートの動き

バンガード・U.S. 500 ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S. 500 ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率は、+15.93%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+20.45%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+7.83%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+17.51%でした。

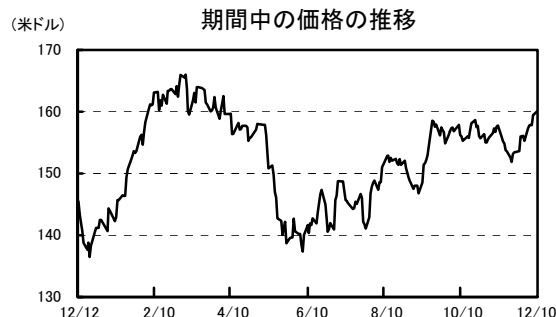
* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+10.01%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+2.75%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+11.93%でした。

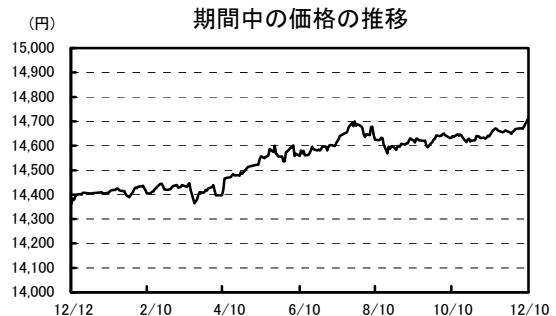
* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率は、+2.41%でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移(対米ドル)

当期の対米ドルの為替レートは、6.27%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*となりました。

* 当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行なう仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投信協会発表の評価用為替レートを利用しています。



為替レートの推移(対ユーロ)

当期の対ユーロの為替レートは、2.69%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*となりました。

* 当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行なう仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投信協会発表の評価用為替レートを利用しています。



Ⅳ：当期の投資スタンス

当期も引き続き主に積立により皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行いました。なお、ファンドの売却は行っておりません。

Ⅴ：今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行って参ります。

Ⅵ：分配金について

基準価額の水準等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

運用部 瀬下 哲雄

■分配原資の内訳（単位：円、1万口当たり、税引前）

	第6期
当期分配金	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	174

(注) 当期の収益及び当期の収益以外は、少数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。

■復興特別所得税

2013年1月1日から2013年12月31日までの間、普通分配金ならびに解約時又は償還時の差益に対し、所得税7%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、10.147% (所得税および復興特別所得税7.147%、ならびに住民税3% (法人受益者は7.147%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

なお、復興特別税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度、送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申し出ください。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む)及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltdより提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。

従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltdは当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

MSCI Japan Index, MSCI Europe Index, MSCI Pacific ex-Japan Index, MSCI Emerging Markets Indexに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

Barclays Capital Global Aggregate U.S. Government Float Adjusted Bond Index, Barclays Capital Global Aggregate Euro Government Float Adjusted Bond Index, Barclays Capital Global Aggregate Japan Government Float Adjusted Bond Indexに関する一切の知的財産権その他の一切の権利はパークレイズ・キャピタル社に帰属します。

S&P500に関する著作権等の知的財産権その他の一切の権利は、The McGraw-Hill Companies, Inc. に帰属します。

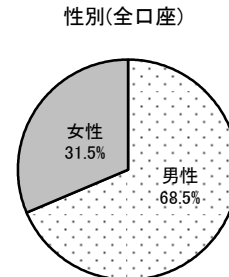
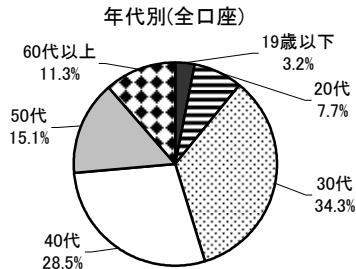
TOPICS : 《社の直接販売の状況 2011年12月13日～2012年12月10日》

2012年12月10日現在 有効口座数 53,977件

セゾン投信の口座数は当期末現在で53,977件となりました。営業開始から5年を迎える節目の期となりましたが、当期間で5,875名の方の増加につながり口座数は5万件を超えました。5年の期間が過ぎましたが、有効口座数の前期比は12.2%増と順調に伸長しております。特に「知人・家族からの紹介」や「書籍、新聞、雑誌、インターネット上の情報」から口座開設をされる方が多くを占めました。

お客様の特徴(全口座)

年代別では、30代が34.3%と最大の割合であり、若い世代の40代以下のお客様が約75%となっています。当期間では19歳以下と40代のお客様の比率が増加し、前期間と同じ傾向が続きました。

**ファンドの設定・解約の状況**

ファンドへの資金流入は、当期も設定額が解約額を毎月上回り、両ファンドともに運用を開始して以来、5年9ヶ月間連続で流入超が続いております。解約額を差引いた当期の純流入額の合計は+74.5億円となり、各ファンドの純資産総額の大きな成長につながりました。

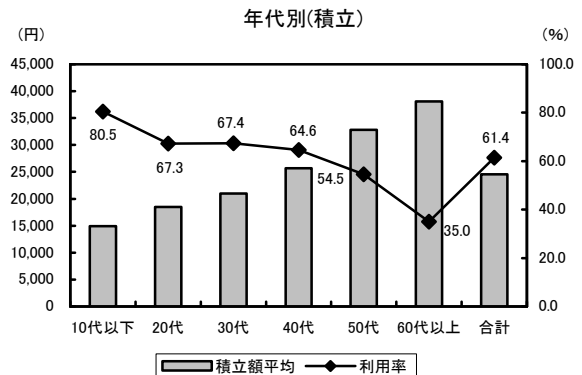
※流入超の継続期間は2012年11月末現在。金額については、当社が運用、販売するファンド2種類を合計した数値。

定期積立プラン

長期での資産形成に特に大切な『時間分散』という考えを実現するサービスとしてご提供しております。このサービスは月々5,000円から開始できる点など引き続き多くのお客様からご支持いただき、前年とほぼ同じ水準となる全体の61.4%の方にご活用いただいております。

※このグラフは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンドともに定期積立サービスをご利用いただいている方を対象とするデータを用いて作成しております。

※全顧客に対する2012年12月4日引落日の定期積立プランの利用率。積立額は増額月の増額分を含まない平均値。



当社に口座を開設いただいている皆様には改めてこの場を借りて感謝を申し上げますとともに、今後も1年1年を大切に皆様への期待に応えた成長を続けられるよう、一つ一つのこだわりを大切に継続して努力してまいります。

■1万口当たりの費用の明細

項 目	第 6 期
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	38円 (21) (14) (3)
(b) 財産維持手数料 (投 資 証 券)	1 (1)
(c) 保管費用等	0
合 計	39

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 財産維持手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 財産維持手数料は、投資対象ファンドの購入・売却時に購入・売却資金より投資対象ファンドに直接支払われます。

(注3) 保管費用等には、監査費用が含まれます。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■期中の売買及び取引の状況 (2011年12月13日から2012年12月10日まで)

投資証券

		買 付		売 付		
		単 位 数	金 額	単 位 数	金 額	
外 国	ア イ ル ラ ン ド	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口	千円	千口	千円
		バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	13	133,041	—	—
	バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	90	1,311,160	—	—	
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口	千米ドル	千口	千米ドル	
	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	1,357	18,467	—	—	
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	165	28,042	—	—	
	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	6	1,056	—	—	
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	29	4,192	—	—	
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ	
	バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	241	2,813	—	—	
	46	7,687	—	—		

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 千単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等 (2011年12月13日から2012年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人は該当ありません。

■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2011年12月13日から2012年12月10日まで)

該当事項はありません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況 (2011年12月13日から2012年12月10日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建てファンドの明細

2012年12月10日現在

ファンド名	当 期 末			比 率	
	単 位 数 又は口数	評 価 額			
		外貨建金額	邦貨換算金額		
株式ファンド					
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 179	千円 1,936,949	千円 1,936,949	% 3.8	
バンガード・U.S.500 ストック・インデックス・ファンド	千口 10,258	千米ドル 149,414	千円 12,334,151	% 24.4	
バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・ファンド	86	16,814	1,388,017	2.7	
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	255	40,932	3,378,970	6.7	
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 4,757	千ユーロ 60,034	千円 6,397,286	% 12.7	
小 計	口 数 ・ 金 額	15,536	—	25,435,375	50.4
	銘 柄 数	5	—	—	
債券ファンド					
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス	千口 371	千円 5,469,330	千円 5,469,330	% 10.8	
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 732	千米ドル 126,350	千円 10,430,220	% 20.7	
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 484	千ユーロ 84,884	千円 9,045,320	% 17.9	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,588	—	24,944,871	49.4
	銘 柄 数	3	—	—	
合 計	口 数 ・ 金 額	17,125	—	50,380,246	99.8
	銘 柄 数	8	—	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 千単位未満は切捨てです。

(注3) 比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

(注4) 比率は小数点第2位を四捨五入しています。

(注5) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建てファンドの明細には外国で投資されている円貨建て資産を含みます。

■投資信託財産の構成

2012年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 50,380,246	% 99.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	331,518	0.7
投 資 信 託 財 産 総 額	50,711,765	100.0

(注1) 評価額の千単位未満は切捨てです。比率は小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末における外貨建純資産(50,711,765千円)の投資信託財産総額(50,380,246千円)に対する比率は99.3%です。外貨建純資産には外国で投資されている円建資産を含みます。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=82.55円、1ユーロ=106.56円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

当期末 2012年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	50,711,765,340円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	331,518,766
投 資 証 券 (評 価 額)	50,380,246,574
(B) 負 債	238,147,845
未 払 解 約 金	124,717,339
未 払 信 託 報 酬	112,911,398
そ の 他 未 払 費 用	519,108
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	50,473,617,495
元 本	60,743,246,678
次 期 繰 越 損 益 金	△ 10,269,629,183
(D) 受 益 権 総 口 数	60,743,246,678口
1万口当たり基準価額 (C / D)	8,309円

<注記事項：当運用報告書作成時点では監査未了です。>

期首元本	52,239,824,425円
期中追加設定元本額	13,324,222,123円
期中一部解約元本額	4,820,799,870円
1口当たり純資産額	0.8309円

■損益の状況

当期 自2011年12月13日 至2012年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	59,707,332円
受 取 利 息	237,421
そ の 他 収 益 金	59,469,911
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	6,103,412,537
売 益	6,307,290,138
売 買 損 益	△ 203,877,601
(C) 信 託 報 酬 等	△ 217,372,322
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	5,945,747,547
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 4,957,476,577
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,257,900,153
(配 当 等 相 当 額)	72,148,163
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 11,330,048,316
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 10,269,629,183
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△ 10,269,629,183
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 11,257,900,153
(配 当 等 相 当 額)	72,148,163
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 11,330,048,316
分 配 準 備 積 立 金	988,270,970
繰 越 損 益 金	0

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜組入投資対象ファンドの内容＞

以下は当ファンドが投資対象としているバンガード・ファンドの現況です。貸借対照表の資産の部に計上された「投資証券」はこれら外国投資証券です。

現時点で入手できる直近の情報として2012年9月30日現在の内容を記載しており、入手可能な情報を委託会社にて翻訳、抜粋したものです。

- 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率をいいます。
- 株式の業種は世界産業分類基準による分類です。
- 債券の格付情報はムーディーズ、S&P、フィッチ社の格付けを記載しています。
- 単位未満は四捨五入しています。

1. バンガード・U.S. 500ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	APPLE INC	情報技術	4.82
2	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	3.25
3	GENERAL ELECTRIC CO	資本財・サービス	1.86
4	CHEVRON CORP	エネルギー	1.76
5	MICROSOFT CORP	情報技術	1.73
6	INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORP	情報技術	1.72
7	AT&T INC	電気通信サービス	1.67
8	GOOGLE INC	情報技術	1.54
9	PROCTER & GAMBLE CO	生活必需品	1.47
10	JOHNSON & JOHNSON	ヘルスケア	1.46

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	S&P500 インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	情報技術	20.1	20.1
	金融	14.6	14.6
	ヘルスケア	12.0	12.0
	エネルギー	11.3	11.3
	一般消費財・サービス	11.0	11.0
	生活必需品	10.9	10.9
	資本財・サービス	9.8	9.8
	公益事業	3.5	3.5
	素材	3.5	3.5
	電気通信サービス	3.3	3.3

■費用明細

ファンド財産維持手数料率 (上限)(%)		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.38

2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国／地域	業種	投資比率(%)
1	NESTLE SA	スイス	生活必需品	3.10
2	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	金融	2.53
3	NOVARTIS AG	スイス	ヘルスケア	2.10
4	VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	2.09
5	BP PLC	イギリス	エネルギー	2.00
6	ROCHE HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	1.96
7	ROYAL DUTCH SHELL PLC CLASS A	イギリス	エネルギー	1.91
8	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	ヘルスケア	1.75
9	TOTAL S.A	フランス	エネルギー	1.58
10	SANOFI	フランス	ヘルスケア	1.51

■国・地域別構成比率

資産の種類	国／地域	構成比率 (%)	MSCI Europe	
			ベンチマーク構成比(%)	
株式	イギリス	35.7	35.6	
	フランス	14.0	14.1	
	スイス	13.2	13.2	
	ドイツ	13.1	13.1	
	スウェーデン	5.0	5.0	
	スペイン	4.4	4.4	
	オランダ	3.8	3.8	
	イタリア	3.4	3.4	
	デンマーク	1.8	1.8	
	ベルギー	1.8	1.8	
	ノルウェー	1.5	1.5	
	フィンランド	1.1	1.1	
	アイルランド	0.4	0.4	
	オーストリア	0.4	0.4	
	ポルトガル	0.3	0.3	
	ギリシャ	0.1	0.1	

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI Europe	
			ベンチマーク構成比(%)	
株式	金融	19.2	19.2	
	生活必需品	14.9	14.9	
	ヘルスケア	12.3	12.3	
	エネルギー	11.4	11.4	
	資本財・サービス	10.8	10.8	
	素材	9.5	9.5	
	一般消費財・サービス	8.5	8.5	
	電気通信サービス	6.1	6.1	
	公益事業	4.4	4.4	
	情報技術	2.9	2.9	

■費用明細

ファンド財産維持手数料率 (上限)(%)		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
0.20	なし	0.50

3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	トヨタ自動車	一般消費財・サービス	5.18
2	三菱UFJフィナンシャルグループ	金融	2.91
3	ホンダ	一般消費財・サービス	2.42
4	三井住友フィナンシャルグループ	金融	2.05
5	みずほフィナンシャルグループ	金融	1.82
6	武田薬品工業	ヘルスケア	1.78
7	キヤノン	情報技術	1.74
8	ソフトバンク	電気通信サービス	1.73
9	ファナック	資本財・サービス	1.49
10	日本たばこ	生活必需品	1.31

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI ジャパン・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	資本財・サービス	20.2	20.2
	一般消費財・サービス	19.3	19.3
	金融	18.8	18.8
	情報技術	11.4	11.4
	ヘルスケア	7.3	7.3
	生活必需品	7.0	7.0
	素材	6.4	6.4
	電気通信サービス	5.0	5.0
	公益事業	3.0	3.0
	エネルギー	1.6	1.6

■費用明細

ファンド財産維持手数料率 (上限)(%)		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.50

4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	BHP BILLITON LTD	オーストラリア	素材	7.60
2	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	オーストラリア	金融	6.55
3	WESTPAC BANKING CORP	オーストラリア	金融	5.41
4	AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANKING GROUP	オーストラリア	金融	4.73
5	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	オーストラリア	金融	4.07
6	AIA GROUP LTD	香港	金融	2.62
7	WOOLWORTHS LTD	オーストラリア	生活必需品	2.58
8	WESFARMERS LTD	オーストラリア	生活必需品	2.46
9	CSL	オーストラリア	ヘルスケア	1.69
10	RIO TINTO LTD	オーストラリア	素材	1.66

■ 国・地域別構成比率

資産の種類	国／地域	構成比率 (%)	MSCI バシフィック エックスジャパン ベンチマーク構成比 (%)
株式	オーストラリア	63.2	63.2
	香港	22.3	22.3
	シンガポール	13.6	13.6
	ニュージーランド	0.9	0.9

■ 業種別構成比率

資産の種類	業 種	構成比率 (%)	MSCI バシフィック エックスジャパン ベンチマーク構成比 (%)
株式	金融	50.9	50.9
	素材	14.5	14.5
	資本財・サービス	8.8	8.8
	生活必需品	6.6	6.6
	一般消費財・サービス	5.0	5.0
	公益事業	4.0	4.0
	エネルギー	3.9	3.9
	電気通信サービス	3.2	3.2
	ヘルスケア	2.6	2.6
	情報技術	0.5	0.5

■ 費用明細

ファンド財産維持手数料率 (上限) (%)		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
0.10	なし	0.40

5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

■ 組入上位10銘柄

	銘柄名称	国／地域	業種	投資比率 (%)
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO.LTD.	韓国	情報技術	3.70
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO.LTD	台湾	情報技術	1.97
3	CHINA MOBILE LTD	香港	電気通信サービス	1.85
4	GAZPROM OAO	ロシア	エネルギー	1.48
5	CHINA CONSTRUCTION BANK	香港	金融	1.39
6	AMERICA MOVIL SAB DE CV	メキシコ	電気通信サービス	1.38
7	PETROLEO BRASILEIRO SA PRIOR PFD	ブラジル	エネルギー	1.14
8	INDUSTRIAL & COMMERCIAL BK OF CHINA	香港	金融	1.07
9	CNOOC LTD	香港	エネルギー	1.02
10	HYUNDAI MOTOR CO.LTD	韓国	一般消費財・サービス	0.96

■ 国・地域別構成比率

資産の種類	国／地域	構成比率 (%)	MSCI エマージング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	中国	17.8	17.4
	韓国	15.7	15.6
	ブラジル	12.7	12.6
	台湾	10.6	11.1
	南アフリカ	7.9	7.8
	インド	7.3	7.0
	ロシア	6.2	6.1
	メキシコ	5.0	4.9
	マレーシア	3.6	3.6
	他	13.4	13.9

■ 業種別構成比率

資産の種類	業 種	構成比率 (%)	MSCI エマージング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	金融	24.8	24.8
	情報技術	13.7	13.6
	エネルギー	13.1	13.0
	素材	12.0	12.0
	生活必需品	8.5	8.5
	電気通信サービス	8.2	8.5
	一般消費財・サービス	8.1	8.0
	資本財・サービス	6.7	6.7
	公益事業	3.6	3.6
	ヘルスケア	1.3	1.3

■ 費用明細

ファンド財産維持手数料率 (上限)(%)		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
0.25	0.25	0.65

6. バンガード・U.S. ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■ 組入上位10銘柄

	銘柄名称	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.5000	2015/4/30	2.23
2	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.7500	2013/10/31	1.90
3	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.3750	2015/2/28	1.84
4	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.7500	2016/11/30	1.69
5	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.3750	2014/10/31	1.65
6	U.S. TREASURY N/B	国債証券	2.6250	2014/7/31	1.45
7	U.S. TREASURY N/B	国債証券	0.1250	2013/8/31	1.37
8	U.S. TREASURY N/B	国債証券	8.5000	2020/2/15	1.25
9	U.S. TREASURY N/B	国債証券	3.2500	2017/3/31	1.22
10	U.S. TREASURY N/B	国債証券	4.6250	2040/2/15	1.21

■ 残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
5年未満	60.9
5年以上10年未満	25.3
10年以上	13.8

■ 格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AAA	99.7
AA	0.1

■ 費用明細

ファンド財産維持手数料率 (上限)(%)		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	4.0000	2014/4/25	1.03
2	FRENCH REPUBLIC	フランス	国債証券	3.0000	2015/10/25	1.01
3	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.7500	2017/4/25	0.90
4	BUNDESREPUBLIC	ドイツ	国債証券	4.0000	2016/7/4	0.90
5	REPUBLIC OF ITALY	イタリア	国債証券	5.2500	2017/8/1	0.89
6	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	4.2500	2023/10/25	0.88
7	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	4.2500	2017/10/25	0.87
8	BUNDESREPUBLIC	ドイツ	国債証券	3.5000	2016/1/4	0.86
9	BUNDESREPUBLIC	ドイツ	国債証券	4.2500	2014/7/4	0.83
10	BUNDESREPUBLIC	ドイツ	国債証券	3.0000	2020/7/4	0.74

■残存期間別構成比率

期間	構成比率(%)
5年未満	46.7
5年以上10年未満	29.9
10年以上	23.4

■格付別構成比率

格付	構成比率(%)
AAA	57.9
AA	9.1
A	1.8
<A	31.2

■費用明細

ファンド財産維持手数料率(上限)(%)		運用管理費率(年率)(%)
購入時	解約時	
0.10	なし	0.30

8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	第85回分離元本国債(5年)	国債証券	0.7000	2014/9/20	1.98
2	第285回利付国債(10年)	国債証券	1.7000	2017/3/20	1.63
3	第286回利付国債(10年)	国債証券	1.8000	2017/6/20	1.56
4	第312回利付国債(10年)	国債証券	1.2000	2020/12/20	1.53
5	第288回利付国債(10年)	国債証券	1.7000	2017/9/20	1.51
6	第321回利付国債(10年)	国債証券	1.0000	2022/3/20	1.32
7	第309回利付国債(10年)	国債証券	1.1000	2020/6/20	1.07
8	第273回利付国債(10年)	国債証券	1.5000	2015/9/20	1.06
9	第102回分離元本国債(5年)	国債証券	0.3000	2016/12/20	1.05
10	第81回分離元本国債(5年)	国債証券	0.8000	2014/3/20	1.03

■ 残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
5年未満	48.6
5年以上10年未満	29.6
10年以上	21.8

■ 格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AA	92.1
A	2.9
NR	5.0

■ 費用明細

ファンド財産維持手数料率 (上限) (%)		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
0.10	なし	0.30

※上記に記載されている各ファンドの運用管理費率とは、投資対象ファンドごとの平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額を示したものです。

※運用管理費については、バンガード・グループとセゾン投信との個別契約により、記載されている上記運用管理費から割戻しの方法で実質的に低減された料率が適用されております。表記されている運用管理費率は割戻し分を控除しておりません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード・U.S. 500ストック・インデックス・ファンド	→ U.S. 500ストック及びU.S. 500ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド	→ ヨーロピアン・ストック及びヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ストック及びジャパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ パシフィック・エクスジャパン・ファンド及びパシフィック・エクスジャパン・ストック・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	→ エマージング・マーケット・ストック及びエマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ U.S.・ガバメント・ボンド及びU.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ユーロ・ガバメント・ボンド及びユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ガバメント・ボンド及びジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド